

## 地区目標

ロータリーにもっと誇りを  
そして学び DEIの心を持って行動実践しよう

## クラブテーマ

ロータリーを楽しみ、仲間と絆を！

◆点鐘：遠藤 靖彦 会長

◆ロータリーソング：四つのテスト

◆司会：佐藤 淳 S.A.A.

◆会場：山形グランドホテル



第3039回例会

令和7年1月27日(月)

## 会長あいさつ

遠藤 靖彦 会長



先ほど黙祷を捧げていただきましたが、残念ながら八柳会員がご逝去され、明日葬儀になります。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

先週20日の日には新年会、本当に大勢の皆さまにご参加いただいて大変賑々しく開催をさせていただきました。

多くの方にお集まりいただき、盛り上がった会にさせていただきましたことを改めて皆さまに御礼を申し上げたいと思います。担当の親睦・家族委員会の皆さま、設営ありがとうございました。改めて御礼を申し上げます。

新年会が目白押しの状況でありまして、いろんな会合に行き、そしていろんな話を伺う機会が本当に今月は多い状況でありました。そんな中で、事業継承という部分に関わった話を伺う機会がありました。大田区の町工場で事業継承をされた女性の社長の話ですが、お父さんが急遽亡くなって継ぐことになったということで、いろいろと苦労されたお話の中で、いろんな継ぐ時の苦労というもののお話をされていたのですが、彼女からすれば事業継承が決まった人がしっかり会社に来て、そこから継いでいく流れになるというのは大変恵まれたことだと。それがなくて急遽なっていくというのは大変厳しいものがあるという言葉が、私はそういう意味では恵まれていたんだと、そういう感じも受けましたし、彼女の一生懸命がんばった中のいろんな言葉として、やはり町工場の従業員の方々というのは昔からずっと技術肌で、自分の技術だけを信じてがんばってこられた方がほとんどなので、その人との会話を合わせる、ベクトルを合わせるというものに本当にご苦労されたという話がありました。お互いの言葉に、言ったことをどう受け取ってもらえるかということに大変苦労されたようでありました。町工場でがんばっている技術屋さんのお気持ちの中では生産性ということとがなかなか理解してもらえなかったと。これを理解してもらうために一つ一つのものをベクトルを合わせながら努力をして進んだところが本当に苦労されたいろんな話として感銘を受けた部分になりました。

その中の一言で「整理と整頓の違いというものを社員に理解してもらうのに大変苦労した」と。整理と整頓の違いはなんなのだとすると、整理というのはいるもの、いらぬものを分別していらぬものを捨てていく。必要なものだけをきちんと置いておく。整頓というのはその必要なもの

のを必要な時にすぐ取り出せるように用意しておく。これが整理と整頓という考え方で、社員のみなさんに伝えていった。そして「いらぬもの」というものを理解してもらうために、1週間使わなかったらそれにテープを貼ってくれと。その中でまた使うことがあったらテープを外してくれと。それを仕事の職場の周りの物全部にテープを貼らせて、2カ月間使わなかったらこれは捨てましょうということをやった理解をしてもらった。「見える化」と言われることだと思いますが、そんなことをやりながらやっていくことで本当に生産性が上がってきて、会社としていい体制が取れたというふうな話がありました。今の時代でも使える部分というのはあると思いますので、ちょっとお話をさせていただきます。

2月にインターシティミーティングがございます。IMの参加者が若干減ったという状況にあります。日程を調整いただき、ぜひ大勢の方にご参加を改めてお願いを申し上げます。

## 幹事報告

武田 良和 幹事

- 本日は地区より100%出席優秀ロータリアンに表彰のバッジが届いております。30年皆出席表彰、吉田福平会員。同じく30年皆出席表彰、浦口太門会員。続きまして米山功労者表彰、第4回マルチプル、坂部登会員。おめでとうございます。



吉田福平さん、遠藤靖彦会長、浦口太門さん

- 八柳会員のご葬儀、キリスト教式ということで、のし袋なのですけれど、「御花料」でご用意いただければと思います。急ですが、よろしく願います。

## 委員会報告

### 親睦・家族委員会

会員12名、奥様が12名、1月に誕生日を迎えられます。おめでとうございます。

#### 内山 秀樹 さん

先日の父の葬儀に際しまして、遠藤会長、ロータリー一同の皆さまより、丁重な弔電を賜りまして誠にありがとうございました。先週金曜日、私の実家である長野県飯田市で無事葬儀を終えることができました。皆さまに感謝申し上げます。ロータリー活動、しっかりやっていますので今後ともどうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

## ニコニコ BOX

### 〈1月27日〉

#### 遠藤靖彦会長／新年会

1月20日の新年会に多くの会員の皆様にご参加いただき、ありがとうございました。担当の親睦・家族委員会の皆さまに感謝。

#### 富田浩志さん／感謝

1月25日(土)にエグゼクティブ経済セミナー、グローバルモビリティサービスの社長、中島徳至氏を会に招いて開催いたしました。大変盛り上がり、良き会となりました。感謝申し上げます。

#### 長谷川浩一郎さん／新会員卓話へ激励を込めて

本日は遠藤靖彦会長年度上半期にご入会された新会員の皆さまの卓話で、楽しみにしておりました。千歳大策さん、那須暢史さん、井上智博さん、山本修司さんの今後の活躍を、会員増強委員会一同、願っております。

#### 新藤幸紀さん、武田周治さん、中山真一さん／

#### お祝い、ありがとうございます

新年会例会時に喜寿の年祝いをしていただきました。ありがとうございます。だんだん老体となってきましたが、もうひと踏ん張りいたします。

#### 内山秀樹さん／弔電をいただきありがとうございました

この度は父の葬儀に際しまして、丁重なる弔電を賜りまして、厚く御礼を申し上げます。おかげさまで無事葬儀を済ませることができました。本日より仕事に復帰させていただきます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

## 新入会員卓話



### 千歳 大策 さん

皆さん、こんにちは。昨年10月に入会させていただきました千歳大策と申します。よろしくお願いいたします。

なぜこのような格好をしているかと言いますと、これは諏訪神社神輿会水神會の半纏でございます。山形駅から東へ約1キロ、県庁のほうへ向かいましたところで諏訪神社がございます。昨年、御鎮座550年を迎えました。その記念事業として諏訪神社神輿会を発足いたしました。その初代会長を仰せつかりました。それまで諏訪神社の神輿に関しては、諏訪町交友会という団体が神輿をトラックに積みまして、車載神輿で練り歩いてきたということだったのですが、なにせ高齢化、担い手不足で諏訪町交友会も解散しますという申し出を神社側に5～6年前から伝えておったんですけれども、宮司のほうから昨年、2024年に御鎮座550年の節目の年を迎えるので、担ぎ神輿の神輿会を立ち上げてくれないかという話がありまして、当初お断りしていたのですが、そういうわけにもいかず、神輿会を昨年発足することになりました。ただいま会員は70数名おります。それまで諏訪町交友会としては名簿には20数名の名前が記載されていたのですが、実際に当日お手伝いいただけるのが7～8名ということで、これはもう到底トラックに神輿を積むにも人数が足りないですし、これはもう不可能だということで諏訪町交友会としての活動はやめさせていただいたのですが、なにせ神輿が140年前の神輿でして、山形市内の神輿でも一番大きいんじゃないと言われておりまして、それを一昨年、2年前に車に積んだ神輿を森谷仏壇さんのほうに運んで、1年かけてリニューアルさせていただきました。

担ぎ棒と神輿を含めると大体1トンありますので、これを担ぐには120人から150人くらい的人数が必要とされています。でも水神會は70人しかいないのに担げないよねという話なのですが、これは実は山形神輿連絡会という会がございます、里之宮湯殿山神社の神幸(みゆき)会さん、歌懸稲荷神社のうの會さん、鳥海月山両所宮の隨身会さん、六榎八幡宮の氏子青年会さん、豊烈神社の神輿会さん、それに東根の東鳳會、寒河江の陵友睦會、左沢の柏風會という8つの神輿会がございます、その連絡会に昨年諏訪神社も仲間に入れてくださいということで快く受け入れていただきまして、その方々、各神輿会の方から10名から20名ほど、やっぱりご奉仕でお手伝いに来て150人とか120人的人数で担ぐと。それはお互いさまの神輿会例大祭に参加するという仕組みになっていたということで、そもそも初めてわかったのですが、ですので昨年2月の神輿連絡会に出席して、そのあと5月の湯殿山神社の神輿会から山形市内の神輿会すべてに私も参加させていただいて、いろんな勉強をさせていただいて、昨年の9月27日、諏訪神社の例大祭の初めての担ぎ神輿にも各神輿会の方からご協力いただいていたので、なんとか神輿会を成功することができました。

ただ、まだまだその会員は70数名なのですが、会員

のほうも募集しておりますので、西クラブの皆さまで興味のある方はぜひ神輿会のほうに入会いただきたいと思ひます。ちなみに西クラブで関連されている方では戸田屋さんの息子さんにも役員になっていただいております。市村会員のコンノ専務も入会いただいております。あと、荘内銀行さんのほうからも4~5名入会いただいております。あと北クラブの方も3人ほど入会いただいておりますので、ぜひ西クラブの方にも諏訪神社神輿会水神會に入会いただければと思ひております。

私も今年還暦の学年でして、来年の3月に60歳になるのですが、これからもチャレンジ精神を持って、感謝の気持ちを忘れずに精進してまいりますので、皆さま、今後とも何卒よろしくお願ひいたします。ありがとうございました。



## 井上 智博 さん

11月に入会をさせていただきました井上智博と申します。株式会社マル牛常務取締役を務めております。本日は貴重な時間をいただきまして誠にありがとうございます。今日はせっかくの機会ですので私自身と会社のことについてお話をさせていただきますこうと思ひます。

私は山形市の北山形出身で、今現在家族で経営しております株式会社マル牛の常務取締役をしております。48歳ということで辰年生まれでございます。妻と高校2年生の息子、10歳のトイ・プードルと過ごしております。趣味は家庭菜園で、40歳になって野菜を育てることに目覚めまして、野菜を8種類くらい育てております。あわせて海釣りであったりとかダイビングであったり、40歳を過ぎてからどんどん外に出るようになりました。こう見えてケーキ、パン作り、料理なんかも得意で、魚も自分で捌いたりしながら息子と一緒に正月は料理なんかしたりしております。ギター演奏はもう40年近くやっております。今も、年に数回ライブハウスなどでロールセブンエイトというバンドでオールディーズロカビリーで演奏をさせていただいております。

ここから会社のお話をさせていただきます。株式会社マル牛、そもそも昭和46年に祖父が創業しました。そこから父から兄へということで、兄が今3代目の社長を務めております。おかげさまで今年は79年目ということで、姿形を変えながらカメレオンのように業態を変えて現在に至っております。今では8業態12店舗、コロナ禍を受けまして9店舗閉鎖しましたので大幅に店舗数は減らしましたが、今現在はこの形で営業させていただいております。ご覧いただいておりますように、写真のとおり焼き肉店、パチンコ店、ボーリング場、バッティングセンター、ゲームセンター、近年ではeスポーツカフェであったりとか介護施設、時代に合わせたいろんなことにチャレンジをさせていただいている会社でございます。

会社は祖父が、戦後戻ってきて祖母と2人で立ち上げたのが現在の会社でして、もやしや納豆のその経験を生かして製造を始めながら、戦後必要とされていたようなアイスクャンデーの行商であったりとか、をおこなっていたと聞いております。その後商店を構えまして、アイスクャンデーは夏しか売れないので、冬どうしようということでパチンコ台を置いてみたら意外に良かったというのが今の当社の原形でございます。

父の代に移りまして、その当時のパチンコ店ということ、あまりイメージがよろしくない商売ということを大変父も危惧してございまして、このまま子どもたちに継がせるのはどうかという思いから、総合アミューズメント企業として事業展開をしてまいりました。複合施設であったり、カラオケ店であったり、飲食業であったり、パチンコだけに頼らない企業活動ということで展開をしてまいりました。

2000年代に入りまして、私と兄とが会社に戻ってみたら、意外にもパチンコに対してアレルギー反応がないということで、もう一度パチンコを中心にしながら企業として成長していこうということで取り組みを始めました。パチンコ業界全体としても1992年頃から業界全体を挙げてサービス業としてなんとか世の中にアピールしていこうということで、接客、服装・身だしなみ、店舗のクリーンネスであったり、さまざまな角度からパチンコ業を成長させていくという流れがありましたので、パチンコ業界のイメージも大幅に変わってございました。その影響もありまして、私たちと同年代の若い社員が多く入っていただいたというのを記憶しております。合わせて、若い世代が働きやすいような環境づくり、評価制度であったり、組織体制づくりというものに取り組みながらどんどん新しいアイディアを取り入れて新規事業に取り組んでまいりました。

パチンコ店は今、「ゼスト」という屋号で営業させていただいております。ゼストという名前を付ける時に兄弟で話し合いをしました。それまでは「千代田城」という漢字の、非常に古めかしいと言うと祖父に失礼ですけども、皇居を意味する千代田城という屋号で営業してございましたけれども、やはり若い社員が「オレ、ここで働いてるんだ」と言いたくなるようなカッコいい名前にしようということで、兄弟で話し合いました。我々が子どものころから育った山形の町にもっともっとこういうのがあったらいいよね、こういうのがあったらもっと楽しくなるよねと、学生時代に東京であったり海外で生活をさせていただいた中で気づいたそのスパイスをなんとか山形の町に提供したいということで、いろんな店を作ろうということでこの屋号を付けました。これもすべて我々が兄弟だけで決めたことではなくて、もちろん祖父の代であったり、今の会長をしている父であったり、受け継がれてきた考え方のもとにこの考え方というのは生まれてきたものだというふうに思っております。

父の代になりまして、祖父の代から受け継がれていた言葉を企業理念として文字化しました。「お客様に愛され 信頼・安心感を提供できる企業」「お客様に期待され 社会に貢献できる企業」というこの2つを企業理念として、今も朝礼の中で社員と一緒に唱和しております。1つはもちろん今お話しさせていただいたようなさまざまな業態にチャレンジをしながら山形を楽しく、明

るく、心の豊かな生活を提供しようというのが一番目  
あります。もう1つは社会に貢献できる企業活動とい  
うことですが、やはり企業というのは世の中の役に  
立って必要とされてこそ、期待されてこそ存続でき  
るんだというのが祖父の言葉であったそうです。私  
たちは営業と同じように社会貢献活動も1つの柱に  
させていただいております。

「子どもにここに基金」活動というものを2001  
年からスタートさせました。これはスタートライン  
としては、元々はお客様がパチンコを遊ばれた時  
に端玉とあって景品に換えきれない、例えば柿の  
種とか、ソーセージであったりとか、そういった  
お菓子をお客様が「こんなにいらぬ」と言って  
ゴミ箱に捨てていらっしたんですね。これを見た  
従業員が「これはもったいない。なんかならぬ  
か？」ということで、投函ボックスを作りまし  
て、それを集めて、今では県内の5つのすべての  
児童養護施設の皆さんとお付き合いをさせてい  
たすけれども、まずは山形学園さんにお声掛け  
をさせていただいて、子どもたちのおやつの時  
間に食べてもらえないかということで始まった活  
動です。どうしてもサラミとか柿の種という子  
どものおやつにどうなのかという話もあったの  
ですが、普通のご家庭であればお父さんがつま  
みでつまむようなサラミとか柿の種というの  
はいたずら心に子どもはつまむんじゃないかと  
、それでいいんじゃないかということで始めさせ  
ていただきました。そこから募金活動なども始  
めまして、ご来店、ご利用いただくお客さま  
から募金を集めまして、子どもたちには、写  
真のほうにありますけれども、クリスマスには  
プレゼント渡しなんかもさせていただいており  
ます。

もう1つ最大のポイントの1つであります「ファミ  
リドーム杯」という少年野球大会、小学校と中  
学校の野球大会を毎年開催させていただいてお  
ります。数年前からは実行委員会の皆さまに移  
管しまして、我々は後援企業としてお手伝いを  
させていただいておりますけれども、最初は8チ  
ームから始まった少年野球大会、これはうち  
の父も子どもころ野球少年であったこともあ  
りますけれども、子どもたちに野球の活躍の場  
をということで、すべての大会が終わった秋に  
決勝戦を、本当に小学生としては最後の大会  
になるような大会をということで、これももう  
22回目です。今では庄内地方も含めて83チ  
ーム74団体に参加いただき、今年も開催の  
予定です。この83チーム74団体というのは  
どうということかという、1つのチームでは  
今子どもたちが減りすぎていて、チームを作  
れないんですね。大会に出るためにはやはり  
2つ、3つのチームが合同の団体としてご登  
録いただくというのがこの数年の流れです  
ので、そういった子どもたちにもぜひ活躍の場  
を作りたいということで、クラウドファン  
ディングなんかも使いながら継続的に大会を  
開催しております。

これからも社会貢献活動、皆さんとともに  
がんばってまいりたいと思いますので、ご指  
導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げ  
まして私の卓話を閉めさせていただきます。  
今日は貴重なお時間をありがとうございました。



山本 修司 さん

山本修司と申します。よろしくお願いいたします。

生まれが昭和40年3月13日になります。鈴川  
幼稚園、鈴川小、八小、一中、それから山形南  
高校に入学しました。山形南高校では1コ上  
に横沢先輩であったり、武田良和先輩だ  
たりがおりまして、ちょうどしもべとして  
活動していた頃でございます。そのあと  
神奈川大学工学部の建築学科のほうに行  
きましたが、ただ単に横浜で遊ばたか  
ったという理由で行ってまいりました。

高校時代はソフトテニス部で大学は硬  
式のテニスサークルということで、ず  
っとテニスに入っております。その  
あと、昭和60年4月、早々になぜか  
結婚してしましまして、株式会社類  
設計室という会社なのですが、そ  
ちらに入社をしまして一級建築士  
を取りました。その後日建設計にて  
勤務をしております。その頃の  
主な物件としては、府中市の生涯  
学習センターだったり、川崎のソ  
リッドスクエアという24階のツ  
インタワーなのですが、その辺の  
現場の管理をしたりして30歳  
までは楽しく働いてまいりました。

30歳になりまして、平成7年4月、  
山形に戻り、株式会社山本建築  
設計事務所、私が3代目になり  
ますが、に就職しまして現在に  
至ります。JC、青年会議所では  
遠藤正明先輩のもと事務局長  
をしたりしてまいりました。そ  
の後、建築士会の、今日いら  
っしゃる八鍬先輩、あと平吹  
会長ですね、平吹会長からは  
夜の街で会った時すぐに「お  
前は明日から建築士会の幹事  
だ」と任命されまして、すぐ  
に幹事をやらされて、現在  
は副支部長として一緒に活  
動させていただいております。  
今年、巳年の還暦を迎え  
ます。孫が7人おりまして、  
子育て38年目、真っ最中  
でございます。

現在、株式会社山本建築設計事務所は  
諏訪町の角のところにありまして、  
コインランドリーマールというの  
を1階に設けまして、そちらも  
運営させていただいております。  
なにぶん飽きっぽい性格で落  
ち着きのない男でございます  
ますが、根は真面目なうお座  
のA型でございますので、今  
後ともよろしくお願いいたします。

本日出席 (1 / 27)	会員総数	出席会員数
	104名	69名